

# 令和6年 自己評価表

提供するサービスの質について自ら評価・点検・改善をしております。  
ガイドラインの内容を踏まえ、より良いサービス提供に努めるとともに  
ご利用者様に安心してご利用いただけるよう価値ある施設にまいります。

事業所名：ハッピーキッズスペースみんと横浜吉野町

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	適切にスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	概ね適切に配置できている。当欠等で足りなくなる日もある。
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	広めのトイレがある。トイレ入口に段差がある為工夫が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	朝礼、連絡ノートを用いて全スタッフが業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	アンケートを実施し業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	インターネットに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部評価を行い業務改善に努めている。
	8	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	月に1回社内研修がある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管がアセスメントモニタリングを行い、保護者様のニーズに沿った支援計画書を作成している。
	10	子供の適切行動を図る為に、標準化されたアセスメントツールを作成しているか	標準化したアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	数名のスタッフが中心となりプログラム立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	似たようなプログラムにもアレンジを加えて固定化しないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定しているか	集団療育をメインに行っているため、課題を決め細やかに設定できていない。今後対応していく必要がある。
	14	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	お子様の状況、保護者様のニーズに応じて個別、集団活動を組み合わせて支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に情報共有を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	職員全員で振替を行えない場合はスタッフ連絡ノートを使い共有している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	連絡帳、k k t で支援を振り返ることが出来るようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	個別計画書更新時にモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	保護者様と話し合い、必用に応じて支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連絡関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	管理者又は児発管が可能な限り参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時間の確認等）、連絡調整（送迎自宅の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎時に情報共有を行っている。
	22	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	医療ケアが必要な児童が現状いない。
	23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に勤めているか	必用に応じて情報共有できる体制を整えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	連絡帳、k k t で情報提供できるようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	必要に応じて助言や研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童会館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	学童、公園外出などで交流している。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	可能な限り参加している。
	28	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共有理解を持っているか	送迎時に情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	送迎時、モニタリング時に必要に応じて助言をおこなっている。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に丁寧に説明を行っている。
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	個別計画書更新時、送迎時に相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会等の開催はしていないので、今後検討する必要がある。
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子供の保護所に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情相談窓口を設置し都度対応できる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	ブログ、イベントカレンダーを作成している。
	35	個人情報に十分注意しているか	鍵付きの書庫に保管してある。

	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	特性に応じた情報伝達、意思疎通を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	地域に開かれた事業所運営は出来ていない。今後検討していく必要がある。
非常時などの対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルを策定しているが、保護者様に周知はしていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他の必要な訓練を行っているか	定期的に避難訓練、防災訓練を行っている。
	40	虐待防止の為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	社内で虐待防止に関する研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	保護者様に説明、理解してもらったうえで記載している。
	42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	面談時にアレルギーの確認を行いチェックシートに記載している。 活動、おやつ提供時に留意している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	アルバイトスタッフにもヒヤリハット作成、共有を行っている

